

既存施設の状況（津波浸水想定等との関係）

1 施設の状況

○「国家機関の建築物」施設数	15,080施設
○「庁舎」施設数	8,771施設
○合同庁舎	<u>358施設</u> （中央・地方：264施設、港湾：94施設）

2 津波浸水想定との関係

【合同庁舎（358施設）について】

(1) ハザードマップの津波浸水想定との関係

① 浸水の可能性がある施設	61施設（約17%）
② 上記①のうち、 <u>1m以上の浸水が想定される施設</u>	<u>44施設（約12%）</u>

(2) 海岸からの距離

施設の位置が海岸からの距離2km未満の施設	161施設（約45%）
-----------------------	-------------

(3) 津波避難ビル等に指定されている施設

13施設（約4%）

函館港湾合同庁舎、釧路地方合同庁舎、気仙沼地方合同庁舎、塩釜港湾合同庁舎、本荘地方合同庁舎、横浜第2地方合同庁舎、輪島地方合同庁舎、沼津地方合同庁舎、名古屋港湾合同庁舎、清水港湾合同庁舎、須崎第2地方合同庁舎、高知よさこい咲都合同庁舎、大分地方合同庁舎

【海上保安官署が入居する庁舎148施設（合同庁舎を含む）について】

(1) ハザードマップの津波浸水想定との関係

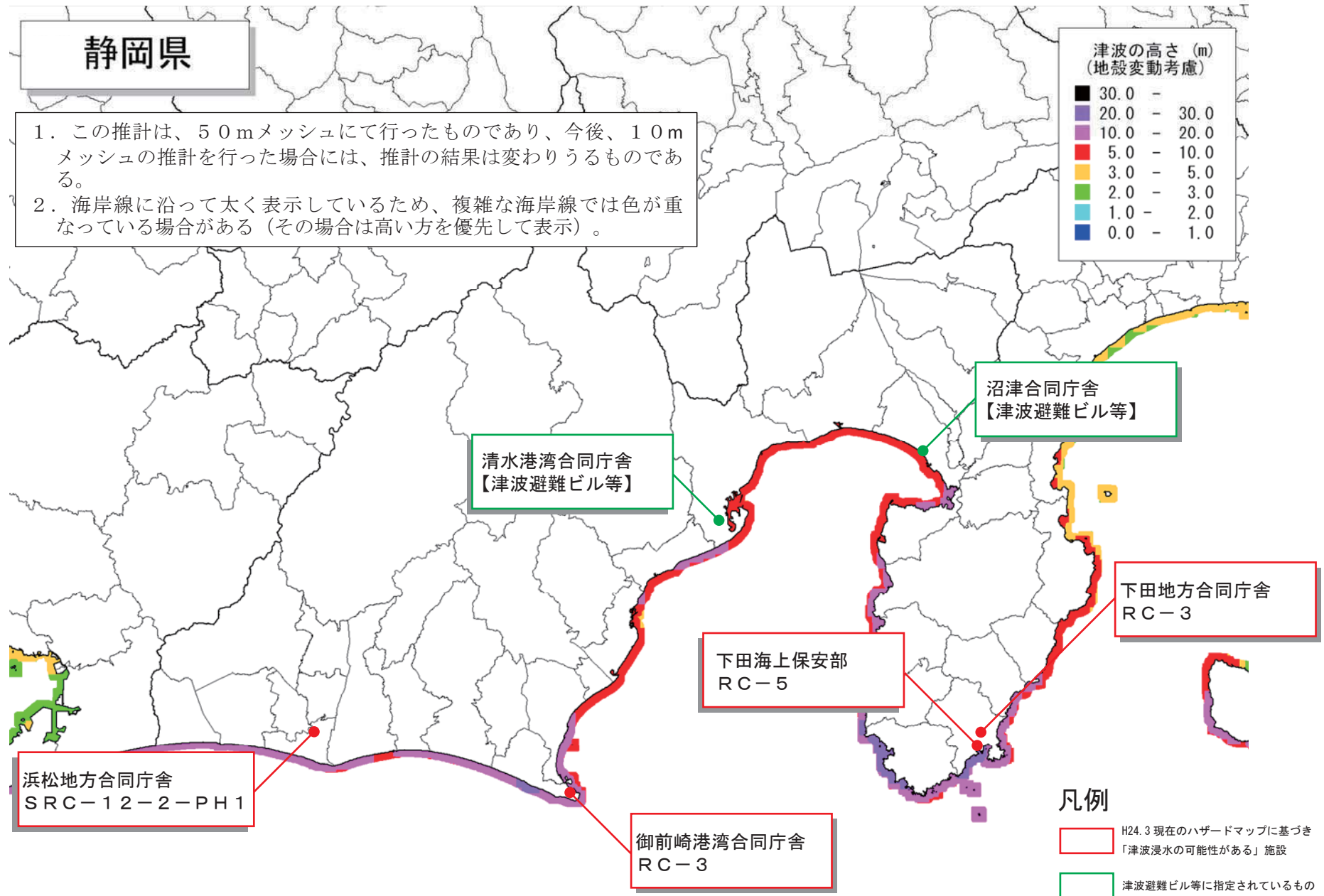
① 浸水の可能性がある施設	53施設（約36%）
② 上記①のうち、 <u>1m以上の浸水が想定される施設</u>	<u>33施設（約22%）</u>

(2) 海岸からの距離

施設の位置が海岸からの距離2km未満の施設	131施設（約89%）
-----------------------	-------------

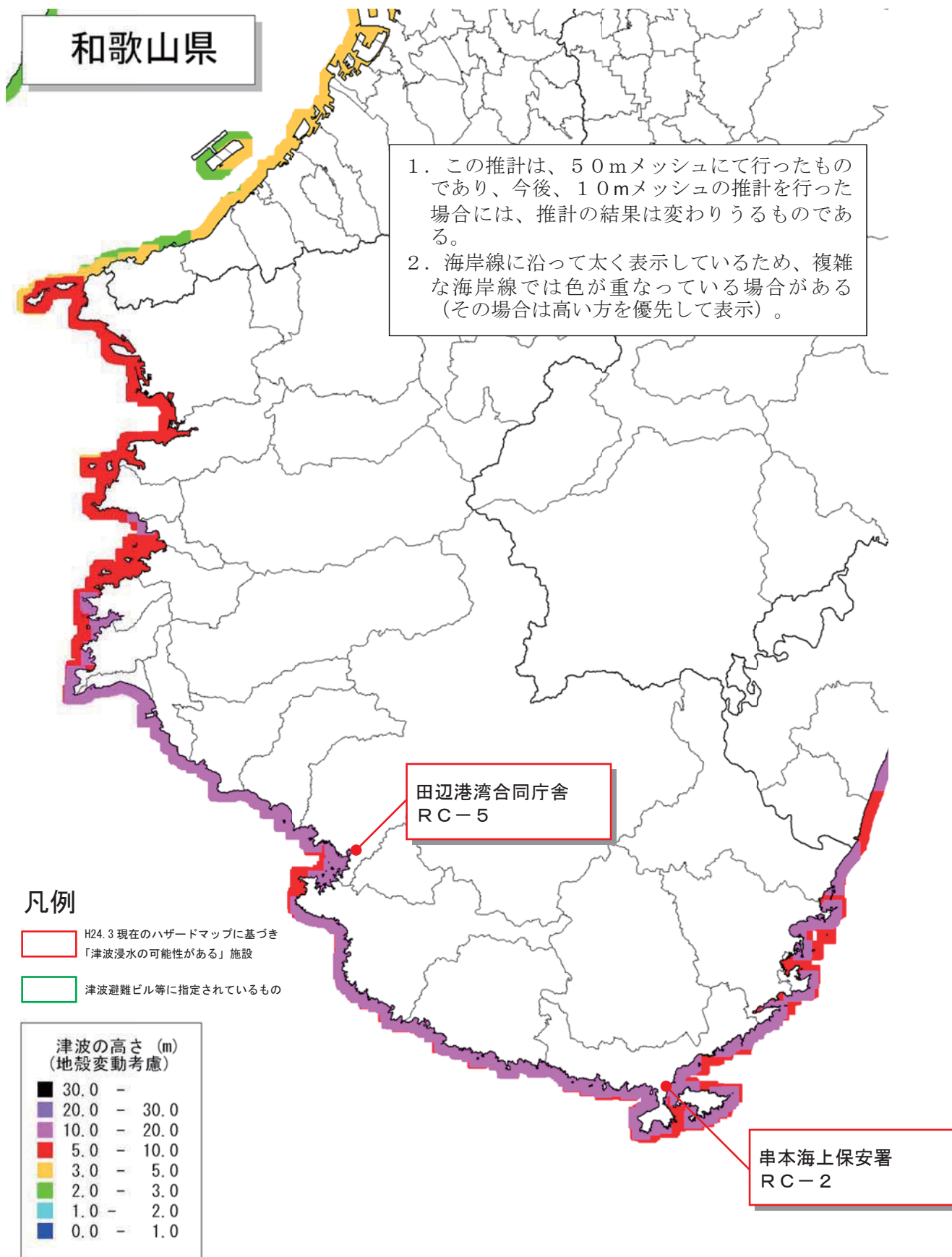
※ 津波避難ビル等に指定されている施設は平成24年5月時点、それ以外は平成24年3月時点

津波が想定される各県における合同庁舎等の分布



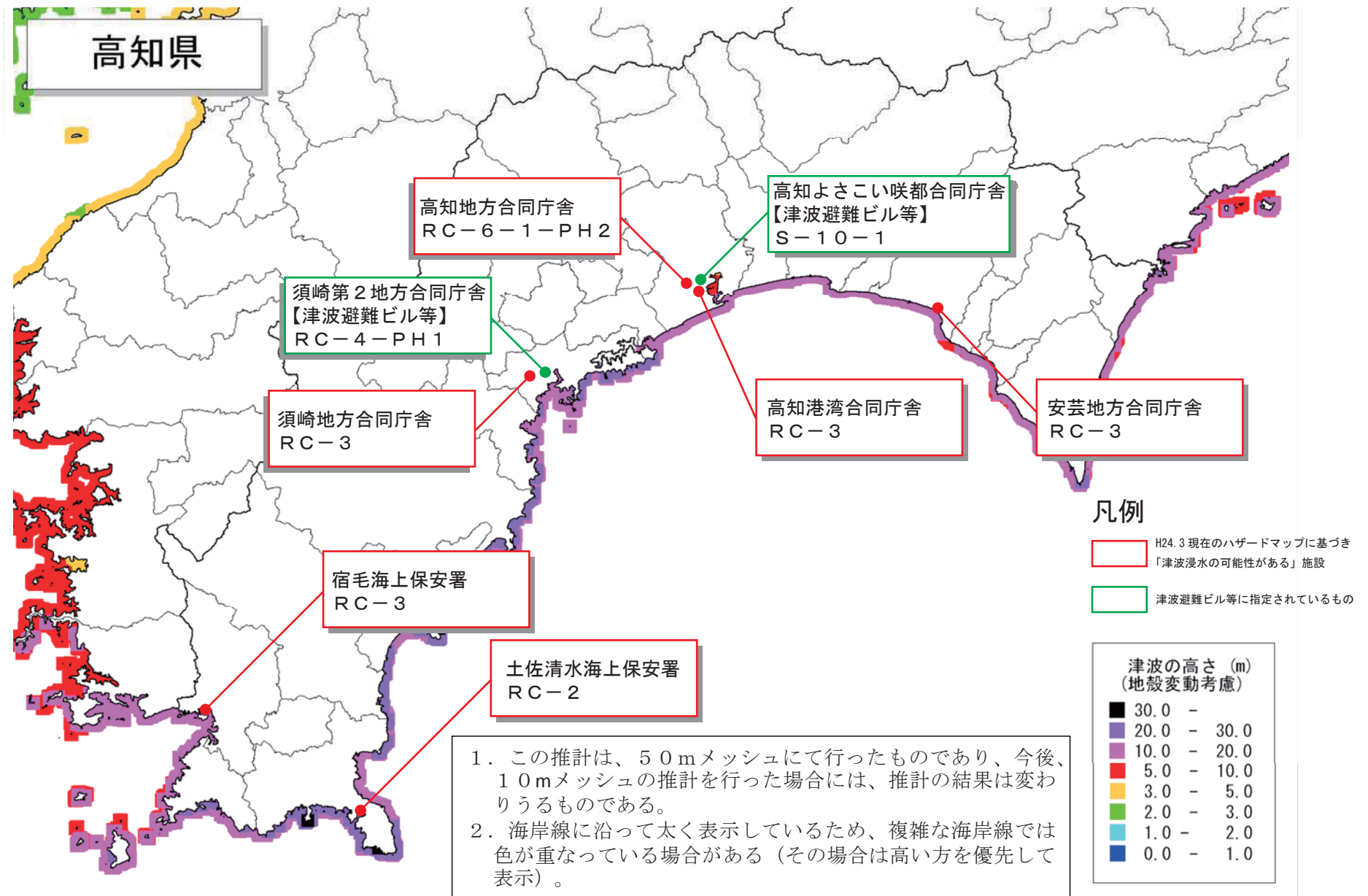
※ 静岡県の『最大クラスの津波高（11ケースの最大値）＜満潮位＞』を用いて、施設の概ねの位置をプロットしたものの
 出典：南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高（分布地図）＜満潮位＞【各県版】（平成24年4月12日内閣府）

津波が想定される各県における合同庁舎等の分布



※ 和歌山県の『最大クラスの津波高（11ケースの最大値）＜満潮位＞』を用いて、施設の概ねの位置をプロットしたものの出典：南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高（分布地図）＜満潮位＞【各県版】（平成24年4月12日内閣府）

津波が想定される各県における合同庁舎等の分布

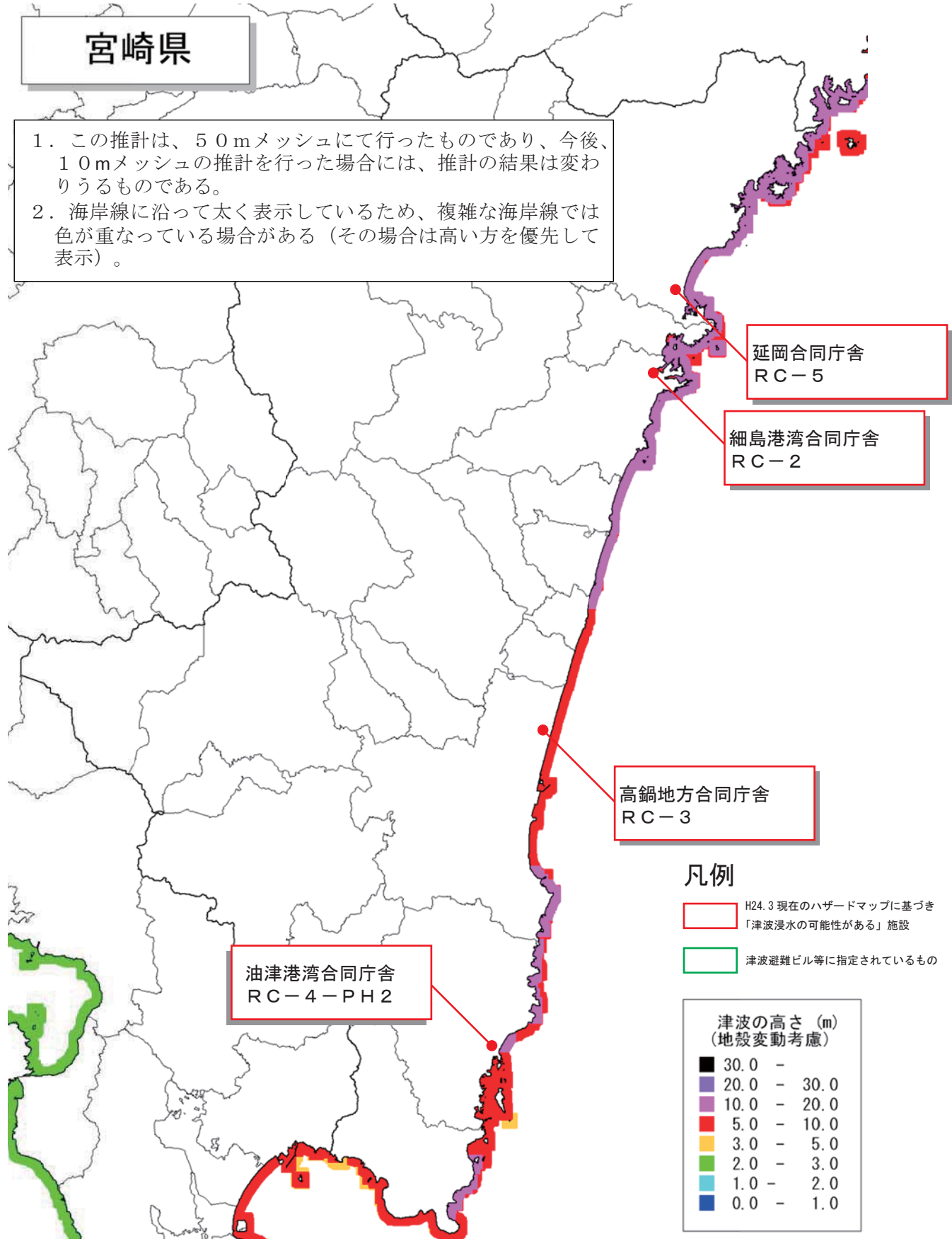


※ 高知県の『最大クラスの津波高（11ケースの最大値）＜満潮位＞』を用いて、施設の概ねの位置をプロットしたものの出典：南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高（分布地図）＜満潮位＞【各県版】（平成24年4月12日内閣府）

津波が想定される各県における合同庁舎等の分布

宮崎県

1. この推計は、50mメッシュにて行ったものであり、今後、10mメッシュの推計を行った場合には、推計の結果は変わらうるものである。
2. 海岸線に沿って太く表示しているため、複雑な海岸線では色が重なっている場合がある（その場合は高い方を優先して表示）。



※ 宮崎県の『最大クラスの津波高（11ケースの最大値）＜満潮位＞』を用いて、施設の概ねの位置をプロットしたもの
 出典：南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高（分布地図）＜満潮位＞【各県版】（平成24年4月12日内閣府）